



八ヶ岳南麓に移住して

山梨県弁護士会 江口 伸介

1. はじめに

私は、新62期としての司法修習を終えた後、長野市内の法律事務所に10年間勤務し、令和元年に山梨県韮崎市で独立開業しました。

2. 地域の状況

韮崎市は山梨県の北西部に位置し、長く裾野を延ばす八ヶ岳南麓の南の端にあります。韮崎市の北、八ヶ岳南麓の高原地帯には、小淵沢、清里、白州などの観光地を擁する北杜市が広がっています。当事務所の顧客の大半は、韮崎市と北杜市（両市を合わせて「峡北地域」といいます。）にお住まいの方です。

韮崎市は、甲府市から車で30～40分の場所にあります。甲府市には約120名の弁護士がいますが、韮崎市には私1人、北杜市にも1名です。なお、峡北地域の人口は7万人強です。

3. 韮崎市に移住・独立開業した理由

私自身は生まれも育ちも福岡県であり、韮崎市には地縁も血縁もありませんでした。韮崎市に移住・開業した理由はいくつかありますが、1つは教育移住です。韮崎市の隣市に、日本一自由な小学校と呼ばれる私立学校があり、長男をそこに入れたかったという動機があります。

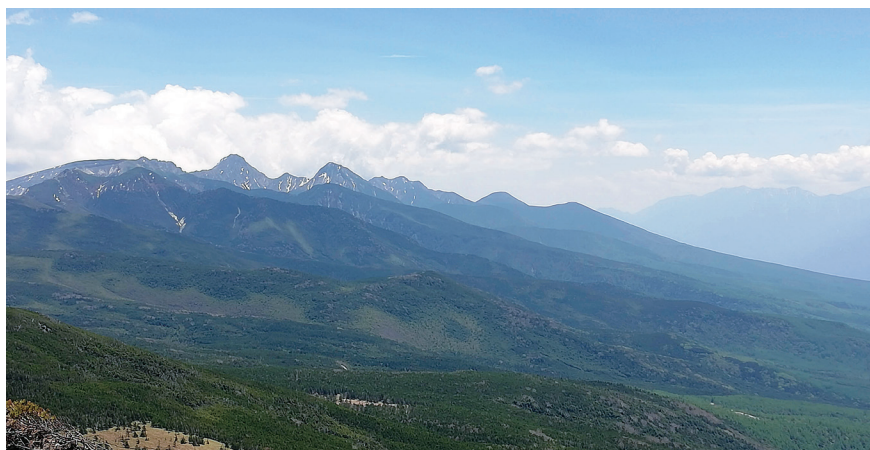
また、私は、高校時代から山岳部に所属しており、山が好きということもあります。子供のころから、将来は高原に住んで羊飼いか山小屋で働く

人になろうと思っていたのですが、なかなか現実的ではなく、弁護士になりました。もっとも、司法修習では山に近い長野県を選び、そのまま長野市内の法律事務所に就職しました。長野での勤務中も八ヶ岳をたびたび歩き、いずれは八ヶ岳南麓の高原地帯に住みたいと思うようになりました。

そこで、長男の入学を機に韮崎市に移住しました。当初は北杜市で開業し、北杜市の高原地帯で暮らそうかと思っていましたが、北杜・韮崎の経済圏の中心が韮崎市にあったので、事務所は韮崎市内に置きました。

峡北地域は、北は八ヶ岳、南は富士山、西は鳳凰三山と甲斐駒ヶ岳、西は瑞牆山と金峰山といういずれも百名山に囲まれていますし、南アルプス、中央アルプス、北アルプスにも近いので、山好きにはもってこいの場所だと思います。事務所の執務室の窓からは、鳳凰三山が見えます。

韮崎市に独立開業して4年目に市内の平屋の中古物件を安く購入し、リノベーションして現在の事務所としました。物件が安く、毎月の事務所代があまり掛からないのは、独立開業にとっては良いことです。



八ヶ岳

4. 事件の特色

蕪崎市は大きな都市ではありませんので、当事務所の取り扱う事件の大半は、相続・親族関係、交通事故、土地関係などの一般民事です。特色としては、峡北地域には移住者や別荘族が多く、そのような方々の相続、後見業務を受けることが多くあります。また、若い移住者から新規事業に関する相談を受けることもあります。

5. 独立開業にあたって

峡北地域は甲府市からさほど離れておらず、蕪崎市も北杜市も、甲府から1時間圏内です。したがって、従前も相談者の多くは甲府市内の法律事務所に依頼していたものと思われます。

また、上記のとおり私自身は蕪崎に地縁も血縁もありませんでした。

そのため、私は、蕪崎で突然独立開業するにあたり、果たして依頼者が来るのか、弁護士として生活できるかととても不安に感じていました。

独立する前に、先に独立した友人の弁護士から、隣接土業の事務所に挨拶に行くというアドバイスを受けていました。

そこで私は、開業するにあたり、峡北地域の税理士、司法書士、土地家屋調査士等の土業の主だった事務所、さらに商工会、社会福祉協議会、市役所などに開業の挨拶に行きました。

直接挨拶に行くと、多くの方から、「こんな場所によく来てくれた」、「近くに弁護士がいてくれると相談しやすい」、「お年寄りは遠出も大変だから、近くに紹介できる弁護士が来てくれて嬉しい」などと言っただけでした。そして、その後も継続的に目を掛けて下さる方もおられます。

その甲斐もあってか、独立初年度から100件を大きく超える法律相談をいただき、現

在まで暇になることもなく、安定して依頼を受けています。依頼の大半が、土業からの紹介です。

6. 八ヶ岳の麓での生活

八ヶ岳の麓には、景色の良いカフェやレストランが点在しています。週末には、家族でそれらの店を巡り、テラス席でのんびりと過ごすのが日課になっています。

また、八ヶ岳周辺には数十のキャンプ場が点在しているので、夏場は家族で頻繁にキャンプに行きます。また、自宅から30分ほどのところにスキー場がいくつかあるので、冬場は気軽にスキーもできます。

このように、山のアウトドア派には、峡北地域はとても環境の良いところだと思います。

山梨県は、桃やブドウなどの果樹栽培が盛んですので、地元の直売所等には季節ごとに桃やシャインマスカットがどっさりと並び安く売られています。依頼者から頂くことも多々あります。

また、八ヶ岳で採れた山菜やきのこを出すレストランに、その季節ごとに行くことも楽しみの1つです。

山梨には中央自動車道と中部横断自動車道が通っており、八王子市、松本市、静岡市にいずれも車で1時間ほどで行くことができます。そのため、月に1、2回は、東京方面、長野方面、静岡方面のいずれかを選んで家族で遊びに行くことが多いです。

また職住近接が地方の良いところで、事務所から徒歩数分のところに自宅があるので通勤時間はほぼ無いですし、自分の子どもたちが下校時に事務所に遊びに来ることもあります。



霧ヶ峰をトレッキング中

7. ワークライフバランス

私には小学生以下の子どもが3人いるのですが、1人はかなり多動、一番下の子はまだ4歳でとても手が掛かることもあり、家事・育児は毎日大変です。特に、子ども達が学校から帰宅する夕方以降は大変なので、妻からは、平日もできるだけ早く帰宅して欲しいと言われています。20時を過ぎて帰宅すると妻の冷たい視線が待っているので、できる限り19時台に帰宅するように頑張っています。また、週末に仕事に出かけると、妻からさらに冷たい視線を浴びるので、土日には仕事を入れません。

私は、昨年病気をして難しい手術を受けたのですが、その入院中、一人病室で寝ていると、考えるのは自分の子どものことばかりでした。手術が成功して家に帰れたら一番何がしたいかを考えたとき、また子どもと手を繋いで一緒に寝たいなということでした。一番下の4歳の息子は、夜寝るとき、甘えて私のお腹の上に乗ってきて寝ます。小学校低学年の娘は、暗闇が怖いので、隣の布団で寝るときにまだ私と手を繋いでくれます。その瞬間が今の私の最大の幸せなのだと、改めて自覚しました。それ以外に望むものはありませんでした。

私にとって一番大切なのは家族であることが分かったので、幸いにも手術が成功し退院した後は、より家族を大事にするようになりました。

もっとも、子どもが手を繋いでくれる期間は、あと数年ありません。その後はすぐに巣立ってしまいます。家族にとっては、この数年が最も繋がりが強く、幸せな瞬間なのだと考えています。

そこで今は、自分の中では家族を最優先にしてものごとを考えています。

以前は仕事の予定を目一杯に入れ日を跨ぐまで仕事をしていたこともあります。独立すると、自分で自由に仕事の量や時間を決められるのが良いところでは。

仕事を詰め込みすぎて一杯一杯の状況が続くと、私は、常に焦った状態になり、家族に余裕をもって優しく接することができませんし、依頼者に丁寧に対応

することもできません。そのため、忙しくなり過ぎると感じたときは、適宜、相談件数を調整しています。

以前は、若い弁護士である以上、限界近くまで仕事や会務をして当然だと自分でも無意識に思っていたが、現在は、自分にとって今何が一番大事なのか、自分は本当はどのような生活がしたいのかを考え、きちんと選択するようにしています。

平日早く帰宅し、週末も仕事を入れないとなると、時間管理が大事になります。そのため、私は、自分のやるべきことに優先順位を決めています。

私の妻は、毎日休みなく家事・育児をするのみならず、事務所の事務も担当してくれています。妻をご機嫌でないと、家族もギスギスしてしまいますし、そのしっぺ返しが私に跳ね返ってきます。妻をご機嫌にすることも私の使命ですので、できるだけ早く帰宅するように努力していますし、月に1、2回は妻と二人で平日に八ヶ岳周辺のトレッキングや景色の良いレストランに行くようにしています。

将来、時間に余裕ができた時には、八ヶ岳の景色の良い山林を安く買い、タイニーハウス（山小屋）を建て、起案日には薪ストーブの炎を眺めながら起案するような生活を送りたいと目論んでいます。

8. 最後に

韭崎に来て6年になりますが、大好きな山や自然に囲まれ、家族との時間も取れていますし、経済的にも余裕のある生活ができていますので、とても充実した生活を送っています。率直に、ここに移住をして良かったなと思っています。

好みのライフスタイルや大切な物は人それぞれに違うと思いますが、田舎暮らしが好きな方は、自分に合う場所を見つけて移住するのも良いのではないのでしょうか。



清里の牧場